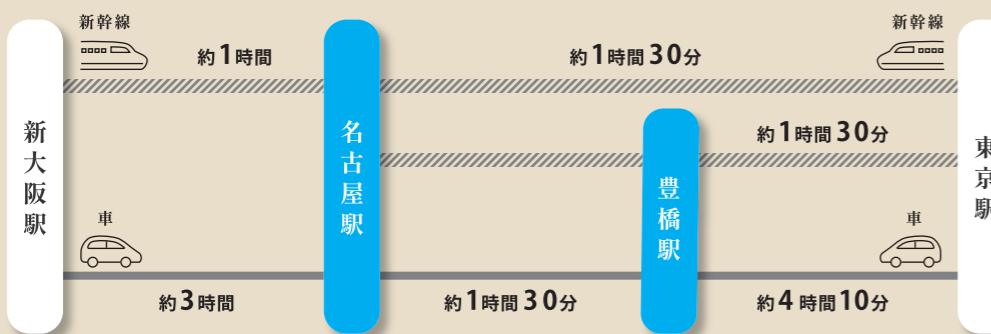
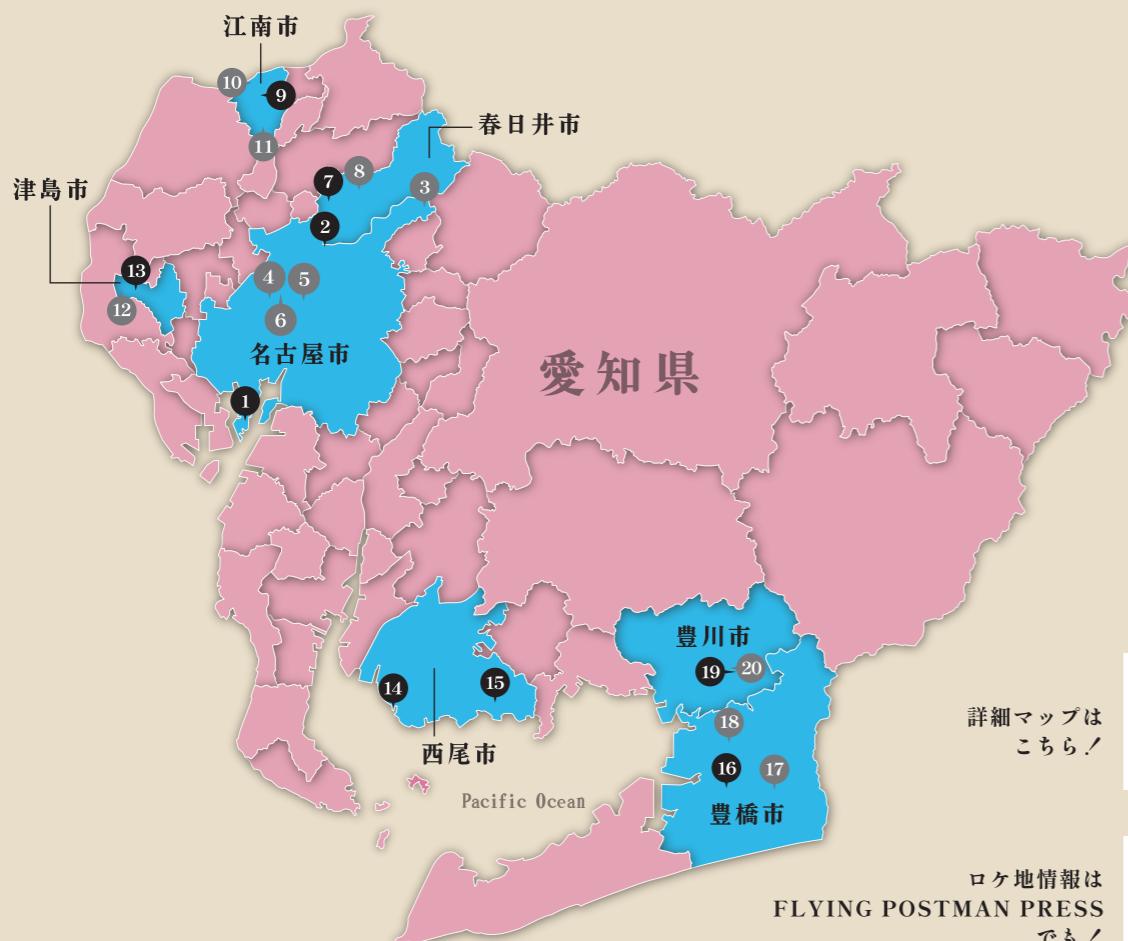


## 愛知県までのアクセス



## あなたの“好き”に 出会える愛知

海あり山あり歴史あり。  
都心部名古屋や国際空港あり。  
個性豊かなご当地グルメを味わいながら  
魅力が詰まった愛知の旅をぜひお楽しみください。



愛知県  
で起きた  
実話  
です。

ディア・ファミリー  
*Dear family*

大泉洋 菅野美穂 福本莉子 川栄李奈 新井美羽

原作: 清武英利「アトムの心臓『ディア・ファミリー』23年間の記録」(文春文庫)

監督: 月川翔 脚本: 林民夫 音楽: 兼松栄

主題歌: 「Dear」Mrs. GREEN APPLE (ユニバーサル ミュージック / EMI Records)

製作幹事: 東宝 WOWOW 製作プロダクション: TOHOスタジオ 配給: 東宝 (C)TOHO

©2024「ディア・ファミリー」製作委員会

2024  
6.14  
FRI  
Roadshow

絶対にあきらめない家族が挑んだ、〈23年間の愛の実話〉。

ただ、娘の命を救いたかった。

愛知県  
ロケ地  
MAP

# ディア・ファミリー

dear family



## 愛知県で起きた、愛の実話

大泉洋演じる主人公のモデルになったのは春日井市に本社を置く東海メディカルプロダクツの筒井宣政会長。先天性的心臓疾患だった娘を救うための研究で培ったノウハウを活かして開発された国産初のIABPバルーンカテーテルは、日本人の体型にあわせて作られており、耐久性、安全性に優れ、たくさんの人々の命を救っています。

あなたは知っていますか――？  
世界で17万人の命を救ってきた「命のカテーテル」を。そして、そのカテーテル誕生に隠された奇跡の実話、絶対にあきらめない家族の〈愛の物語〉を。



愛知県の町工場の経営者が17万人の命を救うカテーテルを生み出した。そんな実話を描いた本作の主人公は日々ものづくりに勤しむ職人であり、妻を愛する夫で3人の娘を慈しむ父親でもある。もちろん、医療の専門知識などあるわけもなく潤沢な予算もない。もっと言うと地位や名誉がほしくて行動したわけでもなかった。ただただ娘の命を救いたい。その一心で主人公は10年もの間、全身全霊で医療器具作りに挑戦することとなる。

自身も娘を持つ大泉洋は、娘の命を救うべくひたすら突き進む主人公を情熱的に表現し、菅野美穂が包容力豊かにその妻を好演。福本莉子は心臓に大病を抱える次女を“かわいそうな人”としてではなく、“他者を思いやれる強く優しい人”として輝かせている。そんな俳優陣の妙演を丁寧に映し出すのは、『君の臍臓をたべたい』や『君は月夜に光り輝く』を手がける月川翔監督。感傷を煽ることなく自然と観客の涙を誘う、良質なドラマを織り上げている。確かに主人公とその家族がなし得たのは奇跡だ。だが、その奇跡は偶然起きたわけではない。それは、家族の愛と絶対にあきらめない心による必然の帰結。胸を揺さぶられずにはいられない家族の愛の物語が誕生した。

## STORY

生まれつき心臓疾患を持っていた幼い娘・佳美は〔余命10年〕を突きつけられてしまう。日本中どこの医療機関へ行っても変わることのない現実。そんな絶望の最中、小さな町工場を経営する父・宣政は「じゃあ俺が作ってやる」と立ち上がる。絶対にあきらめない家族の途方もなく大きな挑戦が始まる――。

大泉 洋

菅野美穂

福本莉子

川栄李奈

新井美羽

原作:清武英利  
『アトムの心臓「ディア・ファミリー』  
23年間の記録』(文春文庫)  
監督:月川翔  
脚本:林民夫  
音楽:兼松衆  
配給:東宝

月川 翔 監督が

『ディア・ファミリー』  
製作を振り返る

——実話をもとにした本作。

実在する主人公家族・筒井家の話を  
最初に聞いた時の感想は？

「最初に聞いたのは、“心臓の難病を患った娘のために、町工場のお父さんが医療器具を開発した話です。そしてその医療器具は今も大勢の命を救い続けてるんです”と。“え!? それはどういうことですか?”と。詳しく話を聞いてみて、これはぜひやらせていただきたいとすぐにお答えしました。ストーリーの都合でキャラクターが動いてしまうことが、エンターテインメントを作っていると時々やむを得ず出てしまうのですが、実話のものにはそれがない。実際に存在した人たちがどういうふうに行動していったのかを丁寧に編んでいけば、物語はできるんだとわかってきて、そこに面白さを感じていました。実話のものをやりたいと思っていたタイミングで今回のお話をいただいたので、これはぜひやりたいと改めて思った次第です」

——主人公の筒井宣政役は大泉洋さん。

大泉さんが宣政さんを演じられた  
意味はなんだと思われますか？

「宣政さんの、うまくいかなかった時の瞬間で熱するエネルギーみたいなものを大泉さんは見事に表現してくれた印象を持っています。撮影初日だったと思いますが、“娘さんの手術はできません”という手紙を宣政が受け取って“くそ～！”と

怒るシーン。脚本だともっと穏やかに“じゃあ次だ”くらいの印象だったんですが、“ただ感情的になるだけでなくなるべく前向きのエネルギーを持って行きたいんです”という話を大泉さんとして。それであの爆発したような芝居だった。それで大泉さんが瞬時に熱するような芝居をなさった瞬間に主人公像が決まったと思いました。実際の宣政さんの人物像と、脚本が描こうとしている人物像を大泉さんが融合させてくださったと感じたので、自分の中の迷いが吹っ切れました」

——愛知県での撮影はいかがでしたか？

「愛知県の人は本当にいい方たちばかりでした。ロケハンに行っても“ここで撮れたら幸せだな”というところばかりで、すぐに決まる。宣政さんの研究所もセットを立て込ませてもらったんですが、諸事情で予定を大幅に超えて快く承諾してくれて本当にありがとうございました」

——観る方にどんなふうに受け取ってほしいですか？

「大切な家族がいる人はぜひ観てほしいですし、これから家族を持つ人にも観てほしいですね。受け取り方はみなさんそれぞれで構いませんが、娘がいるお父さんは結構しんどいとは思います。でもいろんな方と話をしていると、身近の大切な人を亡くしている人って結構多いんだなと思う。健康無事であることの方が難しいのかなとさえ思います。だからこそ、この作品も刺さる人が多いと思います」



月川 翔  
SHO TSUKIKAWA

1982年生まれ。東京都出身。主な監督作に映画『君の臍臓をたべたい』(2017)、『となりの怪物くん』『センセイ君主』『響-HIBIKI-』(いずれも2018)、Netflixオリジナルシリーズ『幽☆遊☆白書』などがある。



映画

# 『ディア・ファミリー dear family』

ロケ地  
MAP

江南市

KONAN



## 9 写真館かつみ

坪井家が家族写真を撮るシーンでは、カメラマン役として主人も出演しており、まさにリアリティ溢れる感動的なシーンの撮影となった。

☎ 0587-54-3113  
江南市古知野町桃源2番  
10:00~19:00  
<http://www.ps-katsumi.com/index.html>

坪井家が家族写真を  
撮った写真館

TSUSHIMA

津島市

## 13 津島駅

レトロな2階の窓の雰囲気が、当時の外国の空港ターミナルビルのイメージにぴったりということで、娘の治療を求めてアメリカの病院を訪ねるという父親の熱意を表現するとしても重要なシーンで使われた。

☎ 0567-26-3340  
津島市藤町1番地1



## 14 一色さかな広場

時代設定にあわせて県内全域からクラシックカーが集結し、名古屋駅前でのシーンを撮影。真夏の設定だったので、集まった140名のエキストラは12月に半袖に羽団扇という極寒の装備で撮影に挑んだ。

西尾市一色町小牧郷江東176



## 15 蕃豆中学校

佳美の通う高校の外観に使用された中学校。寒い冬の日にエキストラ約100名が参加。撮影終了後は大泉洋と菅原美穂がエキストラに「寒い中ありがとうございました」と温かい言葉をかける一幕も。

西尾市西幡豆町京田3



NISHIO

Aichi prefecture  
愛知県  
TOYOKAWA  
豊川市

Pacific Ocean

TOYOHASHI  
豊橋市

TOYOKAWA  
豊川市

TOYOHASHI  
豊橋市